# 7月からの新紙面

## みんなでつながる　学び合う

７月からの紙面には、新しい企画が続々と登場します。読者のみなさまと記者たちがより深くつながることをめざし、仕事や暮らしに役立つ「学び」をお届けしていきます。今まで以上に、楽しみながら手にとっていただけるような新聞をめざします。



科学医療部・藤波優記者「『リケジョ』はなくなるのか」

スポーツ部・野村周平記者「東京五輪にできること」

経済部・藤えりか記者「シネマニア・サロン」など

東京五輪組織委員会の橋本聖子会長との対談では、大会の開催可否について自分の迷いを率直に伝えました。通常の記事では心の揺れ動きをあまり表現しない。動画だから伝わる記者の体温を感じ取って頂ければ、うれしいです

女性研究者はなぜ少ないのか、課題や支援策について記者サロンで話し合いました。様々な立場の方から疑問や考えが寄せられ、同じ問題意識を持つ人に共感したり、新たな問題に気づいたり。「もっと取材してみよう」と背中を押された気持ちになりました

欧州で最もデジタル化した国フィンランドやフード配達員の働き方などをテーマに複数回、また映画産業を通して世界を考えるシネマニア・サロンも定期開催しています。参加者との双方向のやり取りを心がけ、次の取材にも生かしています

### 記者サロン The Reporters' Salon　月2回 月曜

## 新しい報道のかたち 探りたい

ウィズコロナ時代の新しいジャーナリズムのかたちを模索したい――。コロナ禍でリアルイベントの中止が相次いだ昨春、そんな思いから、人と人、人と社会がつながる機会を提供するオンライン記者イベント「記者サロン」は始まりました。7月からは月2回、月曜日にイベントの模様を紙面で紹介します。

記者は日々どんな思いで取材し、記事への反響を通して何を考えているのか。そこから見えてきた課題や解決策は。各界のゲストを招くなどして語り合い、視聴者から寄せられた質問にも答えます。

この1年余りで開いてきたオンライン記者イベントは、「コロナと就活」「スマホ・SNS・ゲーム……子どもとオンライン」「空から見よう！　いろんな古墳」「せめぎ合う米中　日本の針路」「福岡伸一さんにきく～『新・ドリトル先生物語』誕生秘話～」など計50本余。のべ3万8千人余が視聴しました。

現在募集中のイベントは、記者イベントカレンダー（https://www.asahi.com/eventcalendar/）からご覧いただけます。平日や週末のひととき、一緒に考えてみませんか。多様な企画をそろえて、お待ちしています。

### これからの予定

**NMB48のレッツ・スタディー！**

6月19日（土）午後3時～

昨年度から始まった大学入試改革で、より重視されるようになった思考力や表現力。NMB48メンバーの佐月愛巣（さつきあいす）さん(19)＝写真＝が書いた小論文を、大手予備校・河合塾の加賀健司講師が添削し、文章を構成する営みを通じて「より深い学びと気づき」を得るためのヒントを探ります。

申し込みは募集ページ（https://ciy.digital.asahi.com/ciy/11004670）、またはQRコードから。



**VERYモデル牧野紗弥さんと学ぶ「家族とジェンダー」**

第1回6月25日（金）午後1時～
第2回7月9日（金）午後5時～
第3回7月20日（火）午後1時～

第1回は文筆業の清田隆之さんを招き、「夫を『男らしさ』から自由に」をテーマに語り合います。第2回は弁護士で元フジテレビアナウンサーの菊間千乃さんがゲストの「私が『夫婦別姓』を選ぶ理由」、第3回は上野千鶴子さんがゲストの「性別の呪縛、受験にも」。牧野紗弥さん＝写真＝も毎回出演します。

申し込みは募集ページ（https://ciy.digital.asahi.com/ciy/11004505）、またはQRコードから。



**ファクトチェック　通常国会を総括する**

6月27日（日）午後2時～

政治家らの発言内容を検証し、その信憑性（しんぴょうせい）を評価する「ファクトチェック」。専門家の立岩陽一郎さん、国会審議の可視化に取り組む法政大教授の上西充子さん＝写真＝とともに考えます。

申し込みは募集ページ（https://ciy.digital.asahi.com/ciy/11004536）、またはQRコードから。



### まなび場 天声人語

## 見出し作り挑戦　英語の勉強応援

月2回 月曜

朝日新聞の顔とも言える朝刊1面のコラム「天声人語」。さまざまなニュースを題材に、603文字で世相をとらえながら短くまとめています。

天声人語は、書き写しやスクラップ、受験対策としての要約など、色々な方法で活用されています。さらに新たな活用方法として、読解力アップにも役立つ「見出し作り」と、時事英語が身につく「英語講座」を紙面で始めます。

「見出し作り」は、文章が訴えたいことを短い言葉で表現する訓練にぴったりです。毎月、お題となる天声人語を読み込み、見出し作りに挑戦しませんか。読者のみなさんの投稿から選ばれた優秀作は紙面で紹介します。本社編集者による見出し作りのコツもお伝えします。

「英語講座」は、天声人語本文と全文の英訳を対訳形式で掲載します。時事英単語解説や役立つフレーズを紹介します。

「見出し作り」「英語講座」は7月から毎月それぞれ1回、原則として月曜日に掲載します。

初回の見出し作りのお題は、この紙面に掲載している6月7日付の天声人語です。下の応募の決まりを読んで投稿してください。多くの方の参加をお待ちしています。

**6月7日付 見出し募集**
締め切り 7月11日

**天声人語**

せっかくメッセージを送ったのに、読むだけ読んで相手が返信をくれない「既読スルー」。そのたび返事が来るか来ないか気になって、何度もスマホの画面をのぞいてしまう▼既読スルーに心がモヤつくのは人間だけかと思いきや、シロイルカも同じらしい。最近の研究で、仲間と鳴き交わす際、スルーされると黙っておらず、返事を催促していることがわかった▼三重大学の森阪匡通（たかみち）・准教授(44)らの研究。水族館の水槽に録音器をつけ、鳴き方を調べた。仲間に「ギー」と声をかけ、1秒ほど待っても返事がないと、再び「ギー」と畳みかける行動が高い確率で観測された。「返事ぐらいして」と言わんばかりの催促ではないか▼「イルカやサル、クジラなど社会性を持ち、音声を多用する動物は、鳴き交わしが成立しないと安心感を失います」と森阪さん。シロイルカの世界にも存在した「既読スルー」を解明したその論文は、哺乳類学の専門誌に掲載された▼英国の進化人類学者ロビン・ダンバーによると、人と人の会話は、サル同士の毛づくろいに近い機能を持つ。あなたに関心がある、良好な関係を持ちたいと伝える、いわば遠隔の毛づくろい。会話の中身はともかく、言葉を交わすのが大切なのだという▼森阪さんの研究室で、シロイルカの声を聞いた。キッキッキという高音からドアがきしむような音まで、やり取りは音域が広く、緩急も自在。シロイルカの会話の豊かさにならい、「既読スルー」を少し減らそうかな。

2021・6・7




**応募の決まり**　以下の2点を投稿してください

- 15字以内の見出し
  カギカッコや句読点は、文字数に数えません
- 応募した見出しを考えた理由（100～200字）
  理由を含めて優秀作を選考します

6月7日付の天声人語を読み、15字以内の見出しと、見出しを考えた理由（100～200字）を投稿してください。理由を含めて優秀作を選考します。優秀作は紙面で紹介し、図書カード3千円分を差し上げます。

応募はhttp://t.asahi.com/manabibatenjinへ。右のQRコードからも応募できます。はがきの場合、住所・氏名・年齢（在学中の場合は学年も）を記入の上、〒104･8011　朝日新聞コンテンツ編成本部「まなび場天声人語」係へ。締め切りは7月11日（消印有効）。投稿者の中から抽選で20人に、新聞を使った学びに役立つグッズを差し上げます。お問い合わせはmanabibatenjin@asahi.comへ。

## 人気パズル 朝刊に登場

### 数独

火～金曜

毎週土曜日の別刷りbeや朝日新聞デジタルで人気の数字パズル「数独」が、朝刊紙面にも登場。原則として火曜日から金曜日の社会面に掲載します。

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | | | | 4 | | | | 9 |
| | | 7 | 9 | | 1 | | 2 | |
| | 1 | | | 2 | | 4 | | |
| 5 | | | 3 | | 2 | | 1 | |
| | | 9 | | 8 | | 5 | | |
| | 2 | | 5 | | 9 | | | 4 |
| | | 8 | | 1 | | | 6 | |
| | 6 | | 8 | | 7 | 3 | | |
| 1 | | | | 5 | | | | 7 |

こたえ

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 3 | 2 | 6 | 4 | 5 | 1 | 7 | 9 |
| 4 | 5 | 7 | 9 | 3 | 1 | 6 | 2 | 8 |
| 9 | 1 | 6 | 7 | 2 | 8 | 4 | 5 | 3 |
| 5 | 8 | 4 | 3 | 7 | 2 | 9 | 1 | 6 |
| 6 | 7 | 9 | 1 | 8 | 4 | 5 | 3 | 2 |
| 3 | 2 | 1 | 5 | 6 | 9 | 7 | 8 | 4 |
| 7 | 9 | 8 | 4 | 1 | 3 | 2 | 6 | 5 |
| 2 | 6 | 5 | 8 | 9 | 7 | 3 | 4 | 1 |
| 1 | 4 | 3 | 2 | 5 | 6 | 8 | 9 | 7 |

（パズルの制作・ニコリ）

beや朝デジの「数独」とあわせ、親子で、ご家族で、お楽しみください。

金曜日の問題は懸賞付きで、正解者から抽選で賞品をプレゼントします。朝の「脳活」やランチタイムの気分転換にもぴったりです。

今回の問題は朝日新聞デジタル・数独ページの過去問です。




## 国際経済の潮流 多角的に

毎週日曜

コロナ禍で大きく変わる国際経済。毎週日曜、その潮流をわかりやすく読み解く「サンデー・ワールド・エコノミー」を7月4日からスタートします。朝日新聞が持つ世界34拠点の海外特派員網をいかし、現地のルポや、世界と比べることで見える日本の状況の分析などを通じ、世界の経済ニュースを多角的に伝えていきます。

世界各地で起きた注目のニュースについて、日々の紙面では伝えきれなかったテーマを深掘りし、大ぶりの紙面でたっぷりと読んでいただけるページをめざしていきます。記事で取り上げるテーマの内容が一目でつかめるよう、数字や写真などのグラフィックを生かし、海外の動きが日本に及ぼしうる影響なども読み解きます。初回は、大型再編の動きがあった米国の動画配信ビジネスを取り上げます。

取材記者がどんなことを考えて取材に臨んだのか、「視点」コーナーでは、体験談や記者の問題意識なども紹介します。

朝日新聞デジタルでは、特派員らが現地で撮影した動画や、取材の足取りなどを紹介するオンラインイベント「記者サロン」も展開していく予定です。

わが家の 相続会議

## 相続の「キホンのキ」解説

別刷りbe

土曜別刷り「be」のReライフのページで始まる「わが家の相続会議」は、誰もが当事者になるかもしれない相続について、「キホンのキ」から学んでいく連載です。

登場するのは、朝日さん一家の面々。「父さんが亡くなったら誰が相続人になるの？」「遺産は誰がどのくらいもらえるの？」といった疑問に、近所の「ソーゾク博士」が答えてくれます。毎回、「博士」になっていただくのは、弁護士や税理士といった専門家。イラストもふんだんに使い、わかりやすく解説していきます。朝日新聞が運営する情報サイト「相続会議」（https://souzoku.asahi.com/）の編集部が構成を担当。ほかにも、「終活の始め方」など多彩なテーマを用意しています。

「うちにはたいして財産はないから、相続の心配なんていらない」などと思っていませんか？　実は「争族」とも言われる相続トラブルは、遺産総額があまり多くはない「ふつうの家庭」でよく起きている、というデータもあります。人生100年時代、決してひとごとではないのです。

「円満相続」に向けて準備を始めたい。そんな読者の皆さんのガイド役になれればと考えています。

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。